

望郷詩歌

奥の御所路

親王心
射貫きし北の御所の庭
春の高嶺に雪ぞ残れり

中世を戦ひ翔た花將軍
畿内陸奥伊勢筑後の空へ

歴史から消されし奥羽の都跡
御所や屋敷の影もいずここに

いつの世も民の和おぼろ皇室論
古代室町維新戦後も

朝もやの湖面に春風冴えわたり
御所の古道に廢都偲ばむ

上京し駆け抜け来たが幻か
老いてぞ知れる郷はまほろば

清川史聞

望郷詩歌写真集:「奥の御所路」- 幻の鎮守府/奥州御所跡:御所湖/雫石川/日高見川界限 -

御所湖湖畔:南岸広場から幻の奥州御所屋敷町跡(將軍/君/刑部/寺の各屋敷・元御所・筏奉行・安庭集落)を望む (撮影:2025/5/1 朝霧消滅直後、南麓の安寧の箱庭)

領主変遷:エミシ(大武丸/アテルイ/アヌシコ)→坂上田村麻呂/平親王(桓武平氏)→安倍貞任/宗任(元俘囚)→藤原(平泉/エミシ上頭)→工藤/北条(鎌倉源氏)→戸沢(大和平氏)/北畠顯信(後醍醐天皇)→斯波(足利/河内源氏)→南部(甲斐源氏)

